

モニタリング結果報告書

施設 県立相模原公園

指定管理者 (財) 神奈川県公園協会 (株) サカタのタネグループ

施設所管課 相模原土木事務所

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月15日	指定管理者1年目の目標、収支、維持管理等
5月	6月10日	6月15日	収支、イベント・ボランティア活動、維持管理状況等
6月	7月10日	7月21日	収支、イベント・ボランティア活動、維持管理状況等
7月	8月10日	8月18日	収支、イベント・ボランティア活動、維持管理状況等
8月	9月10日	9月17日	収支、イベント・ボランティア活動、維持管理状況等
9月	10月9日	10月19日	収支、イベント・ボランティア活動、維持管理状況等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

「しょうぶまつり」「グリーンハウス各種企画展」等の催しによる公園利用者増加。また、子供向けイベントの充実。

< 提案内容の概要 >

設置目的を踏まえた総合的な管理運営と施設の利用促進の観点から次のとおり提案された。

① 美しい景観と快適な花緑空間の提供

展示、相談、研修施設等の総合的な運営によるサービスと広報等による広域な情報提供
「都市緑化植物園」としての利用サービス

② 地域との連携と県民参加活動の推進

< 実施状況 >

① 大型イベントの実施

5月 「若草まつり」 (5月6日) 来園者 1,425人

多くの県民を公園に迎え、より一層公園に親しみ緑化意識の啓発をねらいとして、隣接する相模原市麻溝公園のクレマチスフェアの開催に合わせ実施した。

6月 「しょうぶまつり」 (6月6日・7日) 来園者 47,000人

コンサートや鼓笛隊演奏、ショウブ娘との記念撮影、ショウブ苗の配布などの催しにもぎやかに実施した。

7月 「リニューアルイベント」(7月5日) 来園者 22,000人

グリーンハウスのリニューアルイベントを開催。女子美術大学生によるダンスの発表や県立弥栄高校アトラライブを実施した。

利用サービス向上及び市民参加活動の推進

- ・ グリーンハウスの花とみどりの五感を使って感じる空間の提供と四季折々の特別展示・月例コンサートの実施
- ・ 研修室等施設の活用による、園芸教室・体験教室の実施及びクラフト教室・みどりの相談・自然観察会等の開催

② 夏場の閑散期における集客対策の実施

- ・ 8/2 夏休み子供大会 (かぶと虫無料配布・親子工作教室) 8/19 夕涼みコンサートの開催
- ・ 7/20~8/31 緑の街 (ポケットパーク) に臨時的「ちびっこ水遊び場」の設置

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	駐車場収入			
年間予算額	236,000	221,000	5,500	9,500	236,000	0
上半期計 (a)	125,697	118,118	2,632 (2,353)	4,947 (4,173)	121,721	3,976
4月	20,947	19,013	548 (511)	1,386 (1,067)	20,695	252
5月	25,247	23,258	685 (591)	1,304 (1,115)	24,475	772
6月	24,203	22,737	591 (603)	875 (1,084)	22,775	1,428
7月	21,057	20,777	280 (174)	0 (0)	20,710	347
8月	16,717	16,540	177 (185)	0 (0)	17,561	△844
9月	17,526	15,793	351 (289)	1,382 (907)	15,505	2,021
下半期分 (b)			()			
合計 (a+b)	125,697	118,118	2,632 (2,353)	4,947 (4,173)	121,721	3,976

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

上半期収支差し引き額において、一部の月で残額不足が生じているが、上半期全体では、順調な執行となっている。

利用料金(グリーンハウス入館料)は、昨年までは料金徴収委託により県の収入であったが、今年度から指定管理収入のなかに組み込まれている。(参考対比のため記入)

なお、入館料については、多くの県民の方々に入場していただくために、指定管理者からの申請により、本年4月から個人250円を200円に、団体200円を150円に減額し利用者の拡大に努めている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	430,918 人	368,036 人	17.1%
4月	78,951 人	62,912 人	25.5%
5月	75,713 人	79,923 人	△5.3%
6月	115,890 人	114,563 人	1.2%
7月	59,606 人	38,610 人	54.4%
8月	44,972 人	33,117 人	35.8%
9月	55,786 人	38,911 人	43.4%
下半期計 (b)	人	人	%
合計 (a+b)	430,918 人	368,036 人	17.1%

利用状況に関する意見等

〔半期計値の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

上半期の利用者数が5月を除き大幅に増加し前年対比で17%の増加となった。

月別にみると5月はゴールデンウィーク後半の5日「こどもの日」6日「若草まつり」と雨天が続いた影響による減、7月は特別企画「リニューアルイベント」、8月は初めての試みとして「夕涼みコンサート」を開催したのに加え、7月・8月の閉散期対策として、「夏休み子供大会」や「ちびっこ水遊び広場」の開設等集客アップの取り組みが実を結んだ結果であり、日頃の各種利用促進行事の内容が良かったと思慮される。

また、9月は大型連休(シルバーウィーク)中の好天に加えサンパチェンスフェアの開催が新聞に取り上げられ連日家族連れ等でにぎわい、大幅な増加となったものです。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	1	0	0	0	1
6月	0	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	1	0	1
8月	0	0	0	1	0	1
9月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月	特になし		
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

犬に関する苦情が相変わらず多い、その大半は犬の放し飼い（リードはずし）やフンの不始末等の飼い主のマナー違反が原因である。

巡視の強化や園内放送での呼びかけ等根気よく努力をしているが、一部の悪質なマナー違反者もおお対策に苦慮しているのが実情である。

対策としての特効薬はないが、飼い主のマナー向上キャンペーンの推進やドッグラン施設の更なる有効活用を粘り強く押し進めている。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
4月29日	噴水広場と紅葉の丘の間の園路脇で中年女性が負傷し、同伴者らしき人が直接救急隊に通報、救急車にて病院に収容された。原因は聴取できなかったが、園路脇でつまづいて足を捻挫した模様である。
5月20日	森の木展望台付近で幼稚園児(男児)が転倒し右後頭部に怪我(軽い出血)母親に伴われて管理事務所で血止めの応急手当を実施した後に帰宅する。
9月13日	緑の街ポケットパーク付近で3歳児がつまづき転倒し前頭部打撲によるコブ、大事をとり救急車を要請したが特に異常なし。
9月14日	公園職員が早朝グリーンハウス管理事務所横の東トイレ裏で自殺事故を発見し警察と消防に通報、現場検証の結果60歳女性の死亡を確認

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
4月23日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	グリーンハウスのリニューアルによる公園利用者の大幅増。
5月7日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	若草まつりは、雨だったが屋内イベントの観客の評判は良かった。
6月6日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	しょうぶまつりは、好天に恵まれて各イベントの参加者が多くて利用者増。
7月5日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	リニューアルオープンイベントは、盛況で各イベントも評判が良く利用者増。
8月25日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	子供向け水遊び場の設置や夕涼みコンサートなどにより来園者の評判良好。
9月18日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	サンパチェンス特別展示などマスコミなどにも周知し、来園者に好評で利用者増。

9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者

指定管理者制度導入からの3年間(平成18年4月1日から平成21年3月31日まで)において、(財)神奈川県公園協会(株)サカタのタネグループは、公園利用者に質の高いサービスを提供すべく計画的な公園管理に勤めてまいり、花いっぱい運動の取組みや新規イベントの開拓等、指定管理者として積み重ねて来た努力が、ようやく実を結びつつあることが実感できた。

今年度から5年間、指定管理者として重責を担うこととなり、従来の実績に甘んじることなく、更なる飛躍が期待されている。

上半期(4月～9月)は、春から夏にかけての草花や樹木管理の繁忙期であるが、花壇への計画的な植栽を始め、芝生の刈り込み・樹木の剪定や害虫駆除など適期に効果的に実施することが出来た。

特に、グリーンハウス内の植物展示やエントランスホールをリニューアルし、入館料金を下げながら、収入面では昨年同期比で11.8%増となっていることは管理運営が良かったと同時に、まだ6ヶ月の経過なので、今後の動向を注視して見極めていきたい。

花いっぱい運動の一環としても、リリちゃん橋付近の階段スロープを利用し「ダリア花壇」を新設したり、噴水広場の花壇面積を大幅に広げるとともに、県のエコアップ事業とのタイアップで優れた環境浄化能力を合わせ持つサンパチェンスの花植え活動にも貢献し成果を上げている。

5月の「若草まつり」は生憎の雨であったが、6月の「しょうぶまつり」7月の「リニューアルイベント」の大型イベントも天候にもめぐまれ盛況だったのを始め、グリーンハウスのミニコンサートや特別展示等の文化交流活動も利用者のニーズを踏まえて計画的に実施することが出来た。

7月・8月の閑散期対策として、「夏休み子ども大会」や新たな試みとして「夕涼みコンサート」を開催したり、夏休み中の子供達に少しでも涼しい遊び場を提供すべく、緑の街(ポケットパーク)に簡易プールやミニ噴水を用意し臨時の水遊び場として開放する等来園者の目線に即した創意工夫により来園者へのサービスアップが図られた。

モニタリング結果報告書様式

	<p>以上の上半期の実績を下半期につなげて、指定管理者として提案事項の仕上げに向けて職員一同更なる取組みへの努力をしていきたい。</p>
<p>施設所 管課</p>	<p>相模原公園は、総合公園としての機能と緑の発信基地としての役割がある。そのため、利用者層が子供から成年・高齢者までと広範囲におよぶために子供の遊具広場から芝生広場で運動、花緑の鑑賞、緑全般の相談等多岐にわたり、それぞれの要請に応える専門性の高い職員の配置も必要になり外部講師研修実施など継続的に努力していることは高く評価できる。</p> <p>近年各地で起きてる遊具事故に対して日々点検をするなど安全に対して前向きであり、また、利用者の苦情対応等、困難を伴う公園運営と維持管理を、順調に実施していることは、日頃の努力と管理員の継続的な精進の結果であり大変評価できる。</p> <p>県内でもめずらしいドックランは、利用者会員の中からボランティアを募って運営しているが、そのための会議を毎月開催し、犬に関する事項を取り上げ、公園全体として捉えていることは意義があり、これからも継続していく姿勢が評価できる。</p> <p>上半期全体を通じて、各団体ボランティアを活用したまつりや各イベントなどでの工夫している結果が公園利用者増になったことは、指定管理業務と運営を良く遂行していると考察している。</p>